



## 新病院長の紹介

### 山鹿市民医療センター



病院事業管理者  
豊永 政和

平成二十六年四月より山鹿市病院事業管理者(兼院長事務取扱)を拝命しております。どうぞよろしくお願い致します。私は、熊本大学旧第一外科出身で、先輩の本郷弘昭前院長のお誘いで平成二十年より当院に勤務しております。現在は、健診業務に孤軍奮闘しておりますが、熊本大学消化器外科同門でもあります。当院は、昭和二十三年に山鹿町国民健康保険組合診療所として開設、昭和二十九年に国民健康保険山鹿市立病院と改称、昭和三十三年に山鹿市立病院、平成二十三年四月には山鹿市民医療センターに名称変更となり、私は第十二代の院長職となり、病床数は二〇一床、標榜診療科二十一科、常勤医師二三名、総職員数約三〇〇名で、自治体病院では唯一緩和ケア病棟十三床を有しています。

「菜の花」を開設、七月より電子カルテの導入、平成二十六年九月より地域包括ケア病棟の運用を開始しています。

本年度より地域医療構想(「ヒジヨン」)の検討が始まり、医師会を主導とした専門部会が開催されています。地域の中核となる自治体病院としては、救急を含めた急性期医療を中心とした取組みに今後も精進致しますが、自力での病院運営を考えつつ住民の健康や医療に貢献する必要があると見ます。「病院完結型」の医療から、地域全体で治し支える「地域完結型」の医療への転換が求められています。実現できるかは医師会の対応が大きな比重を占めていると思われ、五疾病(がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患)六事業(救急医療、災害時における医療、へき地の医療、周産期医療、小児医療、在宅医療)の中で、二〇二五年問題においても脳血管疾患、心疾患が増加することは明らかであり、がん診療を含め当院の対応は十分とは言えず近々の課題と認識しております。また、緩和ケアに限定した在宅診療、在宅看護を行っていませんが、今後は難病など特殊な在宅医療にも役割を担う必要があると考えます。何卒、大学病院各診療科のご理解、ご協力をお願い致します。本年度は、総務省が示した新公立病院改革ガイドラインに基づき、新たな改革プランの策定も必要であり、また、「地域住民の生命と健康への貢献」という基本理念に沿って、患者中心の信頼される医療の実践に向けて職員一同、誠意努力してまいりますので、今後とも皆様のご指導、ご鞭撻のほど心よりお願い申し上げます。

### 高千穂町国民健康保険病院



院長  
久米 修一

平成二十七年四月に高千穂町国民健康保険病院院長を拝命いたしました。

当院は昭和二十六年(一九五一年)に高千穂町国民健康保険直営診療所として開設され、現在まで六十年以上にわたって、地域住民の健康を守り、宮崎県北の西臼杵郡の中核病院として発展してまいりました。平成二十七年六月の診療状況は、一日当たりの外来患者数が四〇〇人、病床利用率が一般病床(六〇床)で八九%、療養病床(六〇床)で七三%でした。診療科は内科、外科、整形外科、小児科(以上が常勤医)、循環器科、神経内科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、皮膚科(以上が非常勤医)です。人工透析も六五名の維持透析を行っています。

昨年の十二月から四階の病棟を療養病床に転換し、また、本年四月から感染防止対策加算1を算定しています。四月からデータ提出加算の届出を行い、地域包括ケア病床の設置に向けて準備を進めているところです。

当院の常勤医のうち外科三名と小児科一名は熊本大学の医局からの派遣、整形外科の二名は宮崎大学の医局からの派遣です。内科四名のうち一名は自治医科大学卒業の医師、残りの三名はやはり自治医科大学卒業

ですが、義務年限内のローテーターとなります。宮崎県福祉保健部からの派遣です。その他の非常勤医は熊本大学の医局と済生会熊本病院からの派遣となっています。このように多くの大学医局、病院に助けていただいて、地域の患者さんの診療が維持できており、関係の先生方には、この場を借りて厚く御礼を申し上げます。

先日、隣の保健福祉総合センターで「生活習慣病における医療・地域連携会議」が行われました。健診のデータを見ると、高千穂町は、宮崎県あるいは全国の平均と比較して、糖尿病の罹患率が高いことがわかっており、これが動脈硬化や慢性腎不全、その他の成人病が多い原因と考えられています。そこで看護師、保健師などによる生活習慣の指導、食事の指導を行うとともに、町内の事業所、公民館に向いて当院の医師による出前講座を予定しています。糖尿病などの生活習慣病、口コモタイプシンドローム、胃癌・肺癌・大腸癌などの悪性疾患について、各科の得意な分野を解説し、健診や外来受診を勧めたいと思っています。

高千穂町内には、当院と一ヶ所の精神神経科の病院、五ヶ所の医院・診療所があるのみで、町内の医師数は、人口千人当たり一・四六人と全国平均(二・二六)の六割ほどしかありません。そのため、大学の医局や宮崎県にも働き掛けていますが、どこも人手不足のようです。病院のホームページでも募集していますので、高千穂の自然(高千穂峡は有名です)や神社、また地域医療に興味のある方は連絡をお待ちしています。